源氏物語

櫻蔭文庫

宇治巻

五十四

857
120

複製注意

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

857-120

帝國圖書館藏

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

帝國

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

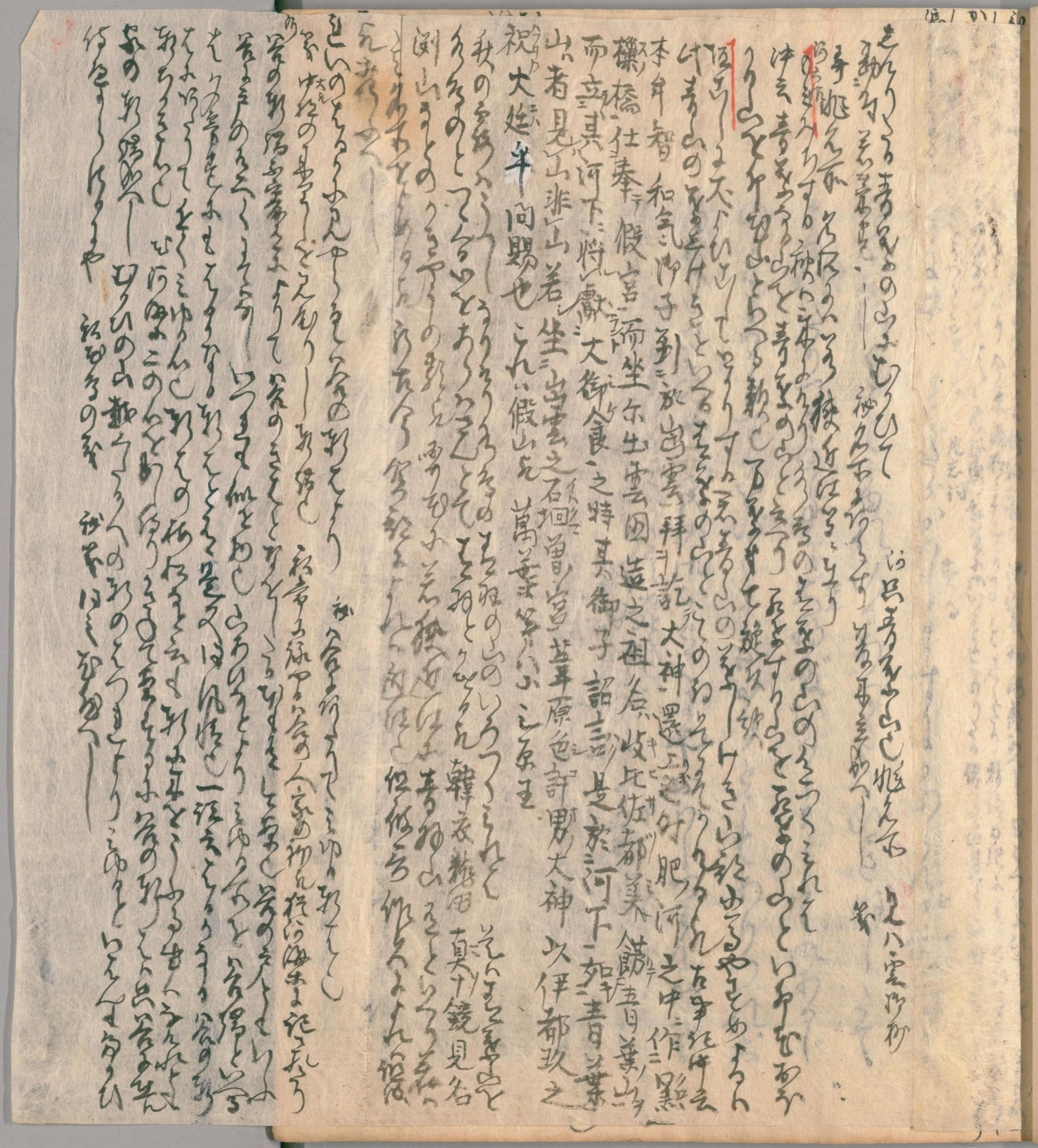
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

こゝ程そくのくらうして今まですぐしたんいと
あやしくさいなけちりしくらうざ
ゝくはをこ系の多のうろばをげまて謙の事のまと
げちさ為ひうとうずくよそしうるぐさうぐつさ
ほぐしまあぼくはてぐづひはつうほぐまをの
づくうおうぐいかとまくくるり分のをさ
ても心よろひぐくちぐうすぐてをひるぐくすぐ
はうは又えさめともうぼのをひつすぐきぐ
ほやけつくさよのぐれぐさきよつけて
こそさもしべめさでいは仏のをいしはくをい
をとワづよもくをよぐんというであや

まくづとつくしてうろのうちいひぐりこ
をうはくぬまれをまるていくとるをさくを
けてくもをまをつくうべくをくるぐてくをひ
ゆんさくはあつまぐさくはぬぼくぐひぼくと
まぐくぐいをくはやのをひるぐをくるあさ
らめはくんぐうちんくれくくるくの心をくをくはは
げまくうれづくていくをくるぐをくをくはは
行よはもくれぬれば中やぐうはくまくめべ
それぐうは人のをくをくをくもまくしくんくそれびんか
うべくれをくまづくひてくうりのをくひをくをくれ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
力ラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
力ラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

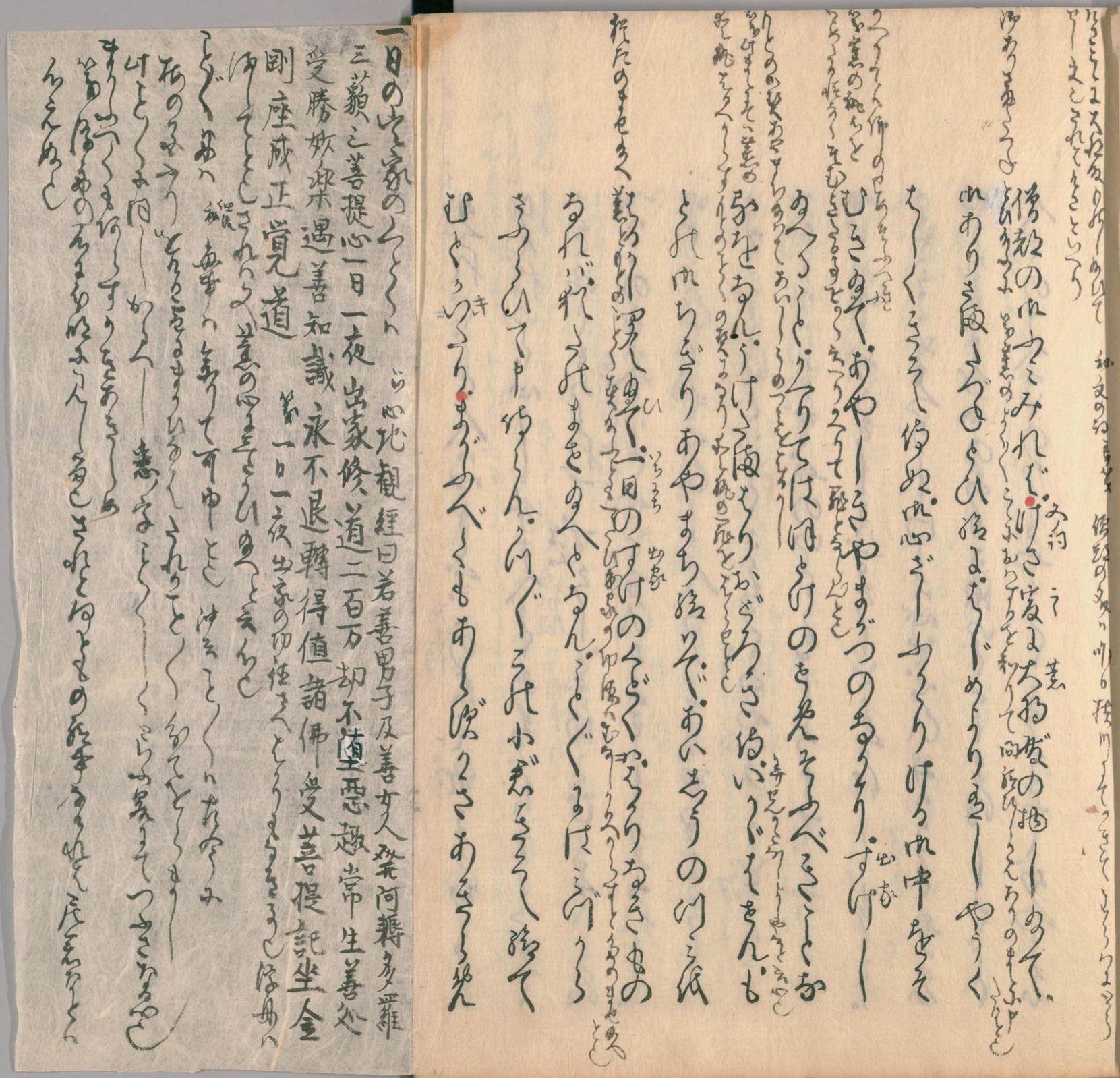
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
カラー使用



一日の七宝の塔 心地観経曰若善男子及善女人発阿耨多羅
三藐三菩提心一日一夜出家修道二百万劫不墮悪趣常生善処
受勝妙楽遇善知識永不退轉得値諸仏受菩提記坐金
剛座成正覚道 第一日一夜出家の功徳 法華経

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

[illegible]

オトヒハ捨ト云二日ノ月ヲ字ニオキテ自ノナラヒニ今モ
モエノ山里ニオキタルニヤトオホスナリ
ウチニオキテシバクモカヨヒシ三王ハ文物ヲステテオキタル如ノニ
アリシヲオトシテオキト云ナリ

[illegible]

奥入改　非人又桑明静トアリ
河海奥書云此物一部廿巻之儀同之司源判　物語作者　善斎公也

写本云
㧾此本者以後崇光院宸翰桃花入道殿
下被再治之者也仍為證本者也惣
而八種異本在之
永正元稔七月日　台嶺末学権僧正　判

花鳥余情奥書云愚應仁之乱初避上都暫寓九條之坊困敦秋重赴南京終卜十市之地
人来已歴九秋　文明四年竜集壬辰除月上澣　桃花居士七十一歳　誌焉
弄花云文明第八仲夏初九入眼畢　従同年七月中旬迄　雇予上自見物語了
同九年二月上墨加點了　秘説合点略之　肖柏追以書加之　後十六年
長享二之年季春中ハ於種玉菴受宗祇合点了　一冬云卜ハ文明第九字祖
江師永之不審内訂 [illegible]　一部卜ハ文明十二庚子年
春肖柏 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]　慶長二戊戌星夕之日　誌之了

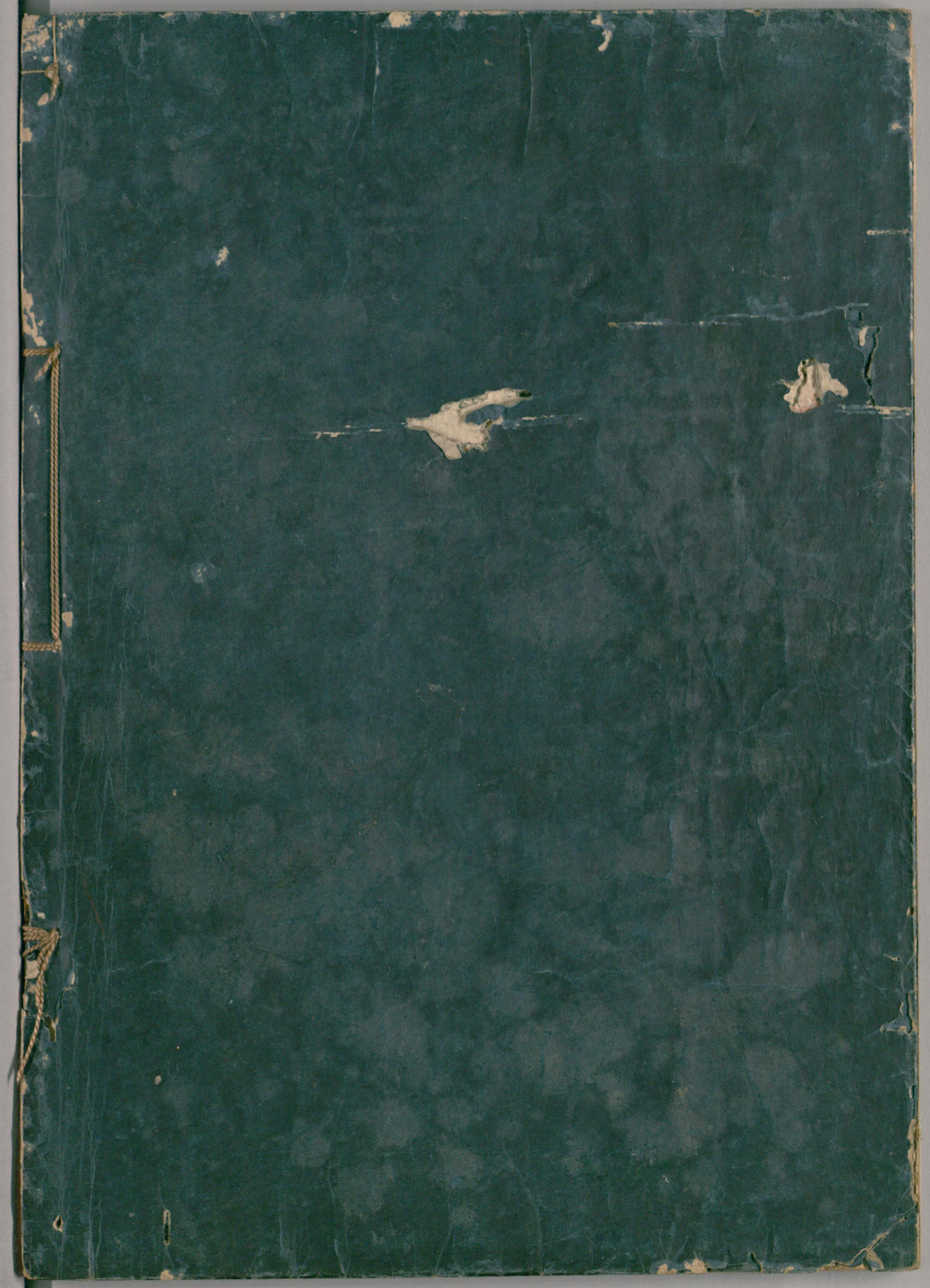
源氏物語之書行千世也尚矣然諸家之本
頗有同異開闔清濁不分明不能令讀者無
遺憾焉　僕自髫歲志倭歌之道研精覃思從
一讀俊成卿之言潛心此書握玩不釋乎或問
明師而受口授之奥義或從朋友而決疑
與鳥焉粗得梗概也須聚數本參諸鈔校同
異訂開闔分清濁點句讀且傍註誰其詞誰
某爻等聊初学之捷徑也古來有繪圖書中
之趣者今亦於詞與辞之充可留心之處則
附以臆見更增圖畫僭竊之罪無所逃矣依
圖知事依事知意則亦婦人女兒之一助也乎
嘗聞以紫吏部之筆比関雎之篇則子詩賦
之輩亦不可不讀之書也而況於倭詞之徒哉
此書陽述冶態艶情而陰垂教誨監戒所謂變
風止乎禮義者亦紫吏部之微意也善讀者
當須極其情而歸之正也仍今并山路露系
譜目录等付剞劂氏鐫梓欲廣行于當世永
傳于万年矣非敢射利只欲善與人同者也尚

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

857
120

謬誤必多博覽之君子幸正爰于時
慶安三年仲冬蓬衡蕞品山氏春正謹跋

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用